



2009.12

No. 191

毎月5日発行 定価1部10円(組合員の購読料は組合費を含む)
1996年3月8日第三種郵便物許可

MONTHLY

れんごう

北海道

<http://www.rengo-hokkaido.gr.jp>

発行

日本労働組合総連合会 北海道連合会

発行責任者 村田 仁

〒060-8616 札幌市中央区北4条西12丁目 ほくろウビル6F TEL (011) 210-0050 center@rengo-hokkaido.gr.jp

「日米共同演習に反対する全道集会」を開催

千歳に組合・市民団体から500人参集

「日米共同方面隊指揮所演習」が12月1日から14日まで、東千歳駐屯地(千歳)で実施されることを受けて、連合北海道は演習に反対する「全道集会」を11月29日に現地千歳市において開催した。

集会には、連合組合員・市民団体から約500人が参加し、北海道の平和と軍縮に逆行する「日米共同演習」に対し、今後ともあらゆる行動を通じて中止を求めていくことを確認した。

冒頭、主催者を代表して高柳薫会長が、「連合は、連合の政治方針でも明らかにしているように、国際協調を基本に、世界諸国との共存・共栄のために努力し、国際政治・経済・社会の発展、地球環境保全、世界の恒久平和に貢献することを大きな柱に掲げ、平和・軍縮の立場から、在日米軍基地の縮小、日米地位協定がいかに不平等で片務的であるかなど、協定の抜本的な見直しを求めて、こうした共同訓練には反対することを国民・道民に訴え続けてきている。連合北海道も、北海道の基地・演習場や日米共同演習などについても、道内の平和と軍縮を進める観点から、段階的に整理・縮小・中止すべきであると主張してきた。わが国では、8月の総選挙において何もかも米国追従を行ってきた自民党政権から、国民の意志を明らかにして政治



を進めるとする民主党政権に交替した。民主党は普天間基地の移設問題を含め日米関係の再構築をめざしている。このような状況の中での今回の「日米共同方面隊指揮所演習」の実施については、とうてい同意できるものではない。今後、怒りを持って沖縄の仲間とともにしっかり闘っていきたい」と決意を述べた。

続いて、民主党工藤仁美衆議院議員、平和運動フォーラム山田剛代表からそれぞれ連帯の挨拶が述べられ、千歳地区連合高橋裕輔事務局長から「今回、予定されている12月1日からの日米共同演習に対し、我々は北海道の平和と軍縮を進める立場から反対するとともに、今後とも、道内の平和と軍縮の実現、日米地位協定の改正のために全力で闘っていく」とする決議を採択した。

最後に千歳地区連合八木橋桂二会長のガンバロー三唱により集会を終了した。

集会の後、千歳市内をデモ行進し、道行く市民に「日米共同演習」の中止と「北海道の平和と軍縮」の実現についてアピールした。



この記事のアドレス http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/monthly/2010/monthly_new_2009_1129_chitose_shambattle.html

対道交渉を実施

「2010年度道政の重点課題に関する要求と提言」

連合北海道は11月17日、「2010年度道政の重点課題に関する要求と提言」に関わる対道交渉を実施した。交渉には連合北海道から村田事務局長以下5名の他、10産別1地協から18名も臨み、職場や地域の現状に基づく政策課題について意見反映を行った。

冒頭、北海道経済部宮原労働局長から「依然として厳しい状況にある北海道の経済・雇用情勢にあって、『北海道経済政策戦略会議』では連合北海道高柳会長にも出席頂いて議論をすすめているところであり、また、『雇用創出推進会議』では道政・経営・労働の六団体で合意した。今後の取り組みもオール北海道で取り組む必要がある。」と述べた。これに対し連合北海道村田事務局長が「『2010年度道政の重点課題に関する要求と提言』についての回答は既に頂いているが、より実効の上がる予算になれば、と考えている。日頃より『北海道経済政策戦略会議』及び『雇用創出推進会議』で連携をとっているが、どれだけの実効を上げられるか、その点を踏まえた議論にしたいと考えている。」と述べ、対道交渉を開始した。

交渉は予め「2010年度道政の重点課題に関する要求と提言」に対する北海道の回答と、その中から特に緊急性・重要性の高い23項目を「最重点項目」として連合からの指摘を行っており、指摘に対する北海道の再回答から始まった。経済部を皮切りに農政部、水産林務部、保健福祉部、総合政策部、総務部、教育庁との間で交渉



が行われ、特に保健福祉部では、地域医療の広域化連携の取り組みについて質問が集中。加えて交渉に参加した北海道医療の役員からは看護師等が不足する医療現場の実態が報告され、道に改善策を講ずるよう要望した。また総務部に対しては、行政サービスの民間開放に伴う委託先労働者の労働条件確保について、村田事務局長から、改めて公契約条例の制定を検討するよう求めた。

交渉の最後に村田事務局長は、「オール北海道で雇用、経済を議論している中で、それと逆行する政策があってはならない。頑なにならず、地域の、そして北海道の将来に繋がる議論が必要だ。」と述べて交渉を終了した。

この記事のアドレス http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/monthly/2010/monthly_new_2009_1117_do-kousho.html

「2010年度(平成22年度)道政の重点課題に関する要求と提言」 各部主要交渉項目

〔経済部〕

- ・道内経済・産業の振興と安定的雇用の確保・創出
- 1. 雇用対策の強化と雇用創出策の具体化
 - ・職業訓練機会の質的・量的拡充と各種団体と連携
 - した職業訓練施策の実施
 - ・「産業人材育成プラン」と医療・介護、農林水産業人
 - 材育成
 - ・「ふるさと雇用再生特別対策事業」及び「緊急雇用
 - 創出事業における留意点
 - ・季節労働者の生活と雇用の安定
- 2. 地域経済の活性化と中小企業の振興
 - ・次期ビジョンを見据えた両ビジョン最終年度の
 - 取組

〔農政部〕

- ・道内経済・産業の振興と安定的雇用の確保・創出
- 3. 農林水産業の振興と地域の活性化
 - ・第一次産業を起点とする「6次産業化」の推進と地
 - 域定住可能な雇用創出
 - ・地域農業を支える農業雇用の安定的確保のため
 - の労働移動に対する支援整備

〔水産林務部〕

- ・道内経済・産業の振興と安定的雇用の確保・創出
- 3. 農林水産業の振興と地域の活性化
 - ・第一次産業を起点とする「6次産業化」の推進と地
 - 域定住可能な雇用創出
 - ・林業・林産業の活性化

5. 循環型社会をめざすエネルギー・環境政策の推進 循環型社会の形成

〔保健福祉部〕

・道内経済・産業の振興と安定的雇用の確保・創出

1. 雇用対策の強化と雇用創出策の具体化

道行政と労使が連携した勤労者のメンタルヘルスと自殺予防施策

・地域社会を支える医療・福祉・教育の確保・充実

1. 安心・信頼の地域医療の確保

・安心と信頼の地域医療確保

・医療提供体制再建のための医療機能調査と地域医療計画見直し

・地域医療の確立と情報発信のための「地域医療情報センター(仮称)」の設立

・札幌医科大学における地域卒学生の地方勤務の義務付け

・勤務医や看護師の労働環境改善に向けた労働基準法遵守

道立衛生学院、道立看護学校の廃止やあり方検討に関わる対策

〔総合政策部〕

・道内経済・産業の振興と安定的雇用の確保・創出

2. 地域経済の活性化と中小企業の振興

・離島航路の確保に対する支援措置、フェリーを利用した貨物輸送等への助成

・道民・地域の目線に立った道行財政改革、地方分権改革の推進

2. 自治体財政の確立と地方分権の推進

・返済計画ではなく市民や地域が再生を実感できる夕張市の新しい「財政再生計画」

〔総務部〕

・道内経済・産業の振興と安定的雇用の確保・創出

1. 雇用対策の強化と雇用創出策の具体化

・「民間開放推進計画」に基づく業務委託

5. 循環型社会をめざすエネルギー環境政策の推進

・2008年度原子力防災訓練の総括と訓練の充実

・地域社会を支える医療・福祉・教育の確保・充実

4. 地域における教育機会の保障

・私学助成の充実

〔教育庁〕

・地域社会を支える医療・福祉・教育の確保・充実

4. 地域における教育機会の保障

・「新たな高校教育に関する指針」配置計画」の撤回・再考と共生共学の推進

渡島地協が街頭宣伝

労働相談等の周知に向けて

昨年末の非正規を中心とした雇用環境の悪化を踏まえ、少しでも早く労働問題での相談を受けることを基本に据えた、労働相談・無料法律相談・多重債務相談等、



連合渡島地協で開設している窓口の周知街頭宣伝行動が、11月21日(土)、函館市内で行われた。

当日は、早朝に降った雪の影響もあり気温は低く、肌を切り裂くような風が吹きすさんでいたが、各労働組合員・各級議員等30名が参加。荒木函館地区連合会長をはじめ、各級議員からは函館の雇用環境や北海道の経済・社会状況が訴えられ、年末を目前に控えて昨年度のような悲惨な状況を再演させてはいけぬとの思いも強く、力の入った訴えがなされた。

また、併せて、職場内での様々な環境の変化や労働条件の悪化、賃金・手当問題、セクハラ・パワハラ、嫌がらせ等の退職勧奨等々についても事例を挙げつつ「泣き寝入りは絶対にしないで!!」と街行く人に訴えると共に、各組合員が一人ひとりに声をかけながらチラシとティッシュを配布した。

おおよそ1時間余りの行動で準備した2000枚に近い配布物はほぼ配り終えたが、組合員の顔と手は寒さの中で真っ赤な状態になっていた。

今回の行動は函館地区連合としての独自の行動であったが、渡島地協では先の定期総会において「職場内・労組内における自己満足の運動から、多くの市民に理解と協力される運動、市民の相談窓口となり得る活動の強化を」との方針を確立し、外へ打って出る運動の充実・強化を求めて行くこととしている。



この記事のアドレス http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/monthly/2010/monthly_new_2009_1121_oshima_gaito.html



12月の主な動き

イベントカレンダー

連合北海道国会議員団会議

- 1日(火) 15:00 / 衆議院第1議員会館
全道労災防止指導員研修・連絡会議
- 2日(水) 13:30 / センチュリーロイヤルホテル
第1回地方連合代表者会議
- 2日(水) 14:00 / ホテルラングウッド
第56回中央委員会
- 3日(木) 10:00 / ホテルラングウッド
連合北海道三役会議
- 11日(金) 10:00 / ほくろうビル会議室
政治センター幹事会
- 11日(金) 13:30 / KKRホテル
第42回地方委員会
- 16日(水) 13:30 / 札幌グランドホテル
第3回中央執行委員会
- 17日(木) 13:30 / ラポール日教済
第3回執行委員会
- 22日(火) 10:30 / 連合北海道会議室
組織財政特別委員会第1回小委員会
- 22日(火) 13:30 / 連合北海道会議室
第2回地協事務局長会議
- 22日(火) 14:30 / 連合北海道会議室

労問研総会

- 25日(金) 15:00 / センチュリーロイヤルホテル
御用納め
- 28日(月)

各地協の総会日程

【12月】

- 檜山地協
5日(土) 10:00 / 江差振興センター
- 後志地協
5日(土) 13:30 / 倶知安後志労働福祉会館
- 日高地協
5日(土) 14:00 / 新ひだか町静内
- 釧根地協
6日(日) 13:00 / アクアベール
- 空知地協
12日(土) 10:00 / 岩見沢サンプラザ
- 上川地協
12日(土) 10:00 / 旭川トーヨーホテル

ゆに・ぼん 使って得しちゃおう!

新企画 組合特集 & 丸井今井応援キャンペーン

今回、連合加盟の組合企業が多数ご参加くださいました。
次回も組合特集を予定しておりますので、皆様のご参加をお待ちしております。

アンケートに答えてプレゼントをゲット!

アンケートを送っていただいた方の中から抽選で6名様に¥5,000相当の商品が当たります。たくさんのご意見・ご要望をお待ちしております。

連合北海道のHPからゆに・ぼん優待割引券がプリントできます。かならず紙に印刷してご使用ください。

